

2025年度 活動報告

I. 運営に関する事項

I. 総会の開催

第24回定時総会

2025年5月24日（土）14:15～16:00 コリドイオ 大会議室

2024年度活動報告の承認を求める件

2024年度決算報告の承認を求める件

2025年度活動計画（案）の承認を求める件

2025年度活動予算案（案）の承認を求める件

2025年度役員（案）の承認を求める件

2. 理事会の開催

2025年4月27日（日）18:00～20:00

2024年度活動報告、収支状況についての報告

2025年度活動案、2025年度予算案、2025年役員案などについて協議

2026年3月1日（日）14:00～16:00

2025年度活動報告、収支状況についての報告、2026年度活動案、予算案、運営体制

3. 合同委員会（むすびつくば運営協議会・理事会）の開催

2025年7月26日（日）18:00～20:00

不登校をとりまく社会的課題や検討すべき事項を共有、WEBサイト「ライズぷらす」の普及に関する提案・協議

Ⅱ. 事業に関する事項

Ⅰ. むすびつくばライズ学園運営事業

- 多様なステークホルダーと協働し、生（性）や健康、安全、環境などをテーマとした体験的な学びの機会を充実させる。

【振り返り】

- ・ 外部講師を招いてのプログラミング講座や SDGs 講座、農業などの体験的な学びの機会を設けた。本年度は、調理の機会も多く取り入れ、食材への関心を高める活動から段階的に進めた。
- ・ つくば警察署生活安全課の職員によるスタッフ向けの防犯講座を実施した。子どもたちに向けては、サークルタイムの時間にスタッフが防犯ワーク「不審者対策について学ぼう」を行った。
- ・ 生（性）教育に関して、保護者や講師と児童生徒対象のコンテンツ制作や学習会について話し合いを重ねた。保護者会主催で「生・性」をテーマに保護者対象の座談会を開催した。

- 上記とともに、ICT を活用するなどして読み書きの困難など一人ひとりに異なる学び（LD：Learning Differences）をサポートすることで、子どもたちが自身を肯定的に見つめなおし、その子なりの Well-being の達成を支援する。

【振り返り】

- ・ 学びプラネット合同会社（<https://manabiplanet.com/>）と協働、「書くこと」に困難を示す児童生徒を主対象に iPad を学びツールとして活用した。また、PC などの ICT ツールを使い、調べ学習やプロジェクトを進めるなど、自分が学びやすい方法で学ぶ環境を整えた。

- カウンセラーやファシリテーターなどの協力も得ながら、保護者や学校、校内フリースクール等とのコミュニケーションを深め、協働を推し進める。

【振り返り】

- ・ 「むすびつくばライズ学園」を週 5 日、延べ 217 日開級した。
- ・ 2026 年 3 月の時点での在籍者数は、月火木金コース（定員 30 名）と水曜コース（定員 6 名）に対してそれぞれ 30 名と 6 名、延べ登園者数は 1,923 名となった。
- ・ 登校を再開したため利用を終了した子が 4 名、3 月には 9 年生 7 名が全日制高校、通信制高校に進学をした。
- ・ 子どもたちの在籍校 17 校に、担当スタッフと学校連携コーディネーター（臨床心理士）が訪問し、情報交換を行った。他にも、毎月文書での活動報告、必要に応じて訪問等を行った。
- ・ 昨年に引き続き、在籍校教職員、保護者、スタッフとの三者で支援方針を話し合うケース会議をもつことができた。小学校から中学校への進学に際して、小学校、中学校、保護者、スタッフの四者でケース会議を設け、引継ぎと支援方針について相談をした。スクールソーシャルワーカーとも連絡を取り合った。今年度は特に学習面について学校と情報を共有し、支援内容や支援体制について連絡を取り合う機会が多くあった。
- ・ 複数の支援施設を利用している児童生徒については、相談支援事業所とも定期的に児童生徒の様子の情報共有をするなどした。
- ・ 保護者面談は、定期面談として年 2 回、その他必要に応じて面談を設けた。保護者とスタッフがともに子どもたちの支援について考えた。
- ・ ピア・カウンセリングを兼ねた 親の会：親カフェ を つくば子どもと教育相談センター の協力で全 10 回開催し、述べ 33 名の参加があった。
- ・ 保護者委員とスタッフとの会議を全 4 回実施した。

《スタッフ一覧（2026年3月時点）》 ＊印は教員免許所持者

氏 名	経歴等	担当クラス
本山 裕子	元公立中学校教諭	スーパーバイズ ＊
北村 直子	元公立中学校講師	国語 ＊
松井 由佳	筑波大学人間学類教育学主専攻卒業	社会、数学 ＊
佐々木 侑紀	二松学舎大学 国際政治経済学部卒業	社会 ＊
小野村 哲	元公立中学校教諭	英語 ＊
梅澤 亜希子	元公立中学校講師	英語 ＊
渡辺 沙矢香	元公立小学校教諭 ／ 公認心理師	算数、理科 ＊
平石 哲	デザイナー	絵画造形
谷島 弘恵	元放課後児童支援員	絵画造形
大嶋 愛子	元公立保育園保育士	算数、サークルタイム ＊
早見 恵一	元会社員	フリースペース
原嶋 彩子	特別支援学校 非常勤 ／ 特別支援教育士	研修・ICT ＊
浅井 希乃華	筑波大学人間学群教育学類3年	水曜クラス
渡邊 千尋	筑波大学人間学群教育学類3年	水曜クラス
椎名 千春	元会計事務所勤務	経理事務

《外部講師》

氏 名	所 属	担当クラス
井上 真理子	NPO 法人 Next.one	スポーツ教室（毎週火曜日）
川上 沙羅	NPO 法人ユアフィールドつくば	農業体験（年2回）

《教育相談》

氏 名	経歴等	担当
穂積 妙子	つくば子どもと教育相談センター 代表 臨床発達心理士、元公立中学校教諭	教育相談・学校連携
和田 あさ	臨床発達心理士、公認心理師	教育相談

《特別活動講師》

- ・石川真由美氏：調理教室（素材を感じる米粉クッキー、収穫したさつま芋を使った根菜チップス、加工を知るせんべいづくり、オリジナルふりかけと合わせ出汁の簡単みそ汁づくり）
- ・松崎貴志氏：SDGs プログラム（脱炭素まちづくりカレッジ）、防災プログラム（風水害24）
- ・八畑博子氏：理科教室（水中生物の観察、化石レプリカづくり）
- ・本山裕子氏：手芸教室（服がどのようにつくられているかを知る）
- ・つくば高等学校 飯島 幸紀氏：スクラッチ（プログラミング）でゲームづくり

2. 研修会事業

- ユニベルシタスつくば（むすびつくば市民大学）と協働し、ファシリテーションについて学びあう機会を設けるとともに、ライズ学園での活動を通じて学び得たもの、見えてきた課題などを子育て・子育て支援に携わる人、または携わろうとする人と共有するオープンスクールを開催する。

【振り返り】

- ・ むすびつくばライズ学園のオープンスクールに、12名の参加者を得た。ケース検討も取り入れ、双方向で参加者と学びあい、情報交換をする機会をもった。
- ・ 学びの多様化地方議員連盟の視察を受け入れ、知見を共有した。

- 他団体とも協働し、ICTを活用した学び支援やLD、特に読み書きの困難を回避、軽減する指導の手立てに関する情報を発信するとともに、支援者に向けた研修講座を開催する。

【振り返り】

- ・ 8月には学びプラネット合同会社と共催で「ICTによる読み書きサポート最前線～大人が変わる・地域で変える～」と題した実践報告会を開催。むすびつくばライズ学園での取り組みや講座「デジタルシーカーになろう」の様子での実践を紹介した。また、3月には、同じく学びプラネット合同会社主催「バリアフリーフォーラム 2026 読み書き ICT コミュニティの集い」のラウンドテーブル実践共有に参加し、ICTによる学習支援の取り組みを報告した。
- ・ 自身も読み書きに苦手を持つ高専生が立ち上げた任意団体「あいよみ」と協働で開発している英単語アプリの体験会を、9月につくばと渋谷の2会場で各1回、2月にオンラインで1回実施。アプリ体験と合わせて、英語のつまずきとアプリ開発に至った背景、プログラマ兼ディスレクシアの経験談、合理的配慮と勉強方法についても紹介し、参加者の学びにつながる内容とした。
- ・ 認定 NPO 法人 EDGE 主催 ディスレクシア（読み書き困難）当事者と支援者がつくる「学び」の体験会「学びのビュッフェ見本市 2026（3月27日、28日）」にブースを出展した。英語・ひらがなの教材に興味を持った人が多く訪れ、支援方法や教材を知っていただくよい機会となった。
- ・ ひたちなか市生涯学習課より依頼を受け、R7年度家庭教育支援動画を製作。保護者の家庭での教育をサポートする動画で、「子育て・子育て みんなちがって みんないい」と題し話をした。
(<https://www.youtube.com/watch?v=w0Qru0A8fq4>)
- ・ 認定 NPO 法人 EDGE の実施した「英語の読み書き困難指導・支援講座」で講師として1講座を担当した。(<https://npo-edge.jp/support/yomikaki/#en>)



ひたちなか市
youtube チャンネル



認定 NPO 法人 EDGE
「英語の読み書き困難指導・支援講座」

3. 育ちと育ての環境共創事業

2025 年度目標と振り返り

- フリースクールやオルタナティブスクール他での子育て・子育て支援における公民協働の事例などについて情報収集に努める。

【振り返り】

- ・ 3月29日には2周年記念イベントを開催。第1部では3名のゲストを招いてのシンポジウムとし、地域と学校、拠点、市民活動など、それぞれの視点から「結びつく場」の機能や可能性について考えた。第2部では、「むすびつくば」の2035年までのタイムラインを考えるワークショップを行った。
- ・ アドバイザー会議や保護者委員会において、全国の不登校など教育を取り巻く課題を共有し、情報や助言を得る機会を設けた。

- 上記とともに、これまでの活動を通じて学び得たこと、見えてきた課題を広く発信、提言するなどしながら、多様なステークホルダーとの連携、協働を推進する。

【振り返り】

- ・ 様々な発信やイベントを通して、地域の教育関係者や行政、他団体、保護者といった多様なステークホルダーとの対話の場が生まれ、協働の足がかりを築くことができた。
- ・ 12月には、株式会社ソノリテ主催の「NPO サミット 2025」に参加した。本番に先立ち、まずは10月からPR・ブランディングのプロによる全3回のワークショップを受講。スタッフがプレゼンスキルを磨いて当日のステージに臨んだ。このサミットは、プレゼンを聞いた参加者が共感したNPOへ寄付をするという企画で、全国各地から集まった13団体中2位という結果を収め、約12万円の寄付をいただくことができた。参加者に活動を知っていただく機会となっただけでなく、全国で志を同じくする団体とも深くつながる契機となった。
- ・ 文部科学省に提案書を提出のうえ、英語教育についてオンラインによる会談の機会をもった。

- ウニベルシタスつくばとも協働しつくばセンター地区で開かれるイベントに参加するなどして、むすびつくば市民大学 や リブラリウム（コミュニティ・ライブラリー）の周知に努め、より多くの人に週末の むすびつくば に足を運んでもらえるようにする。

【振り返り】

- ・ 4月には co-en の3周年記念イベントに参加。当日は、リブラリウムの本棚オーナーによる体験講座のほか、ライズ学園卒園生、在園生によるブース出展も行った。
- ・ 10月には、つくば市社会福祉協議会主催のボランティアフェスタ in つくばに参加。むすびつくばライズ学園の子どもたちが制作した作品を販売したほか、本棚オーナーによる古本市、ライズ学園保護者によるバザー、スタッフによる英語ミニワークショップも行った。あいにくの雨だったが、教室を訪れる人が多くいた。

- ・ 昨年度に引き続き、筑波大学教育学域の「教育インターンシップ基礎論」での講義と「教育インターンシップ実践演習」での学生の実習受け入れを行った。2025年度は8名の学生が2日間ずつライズ学園での実習を行った。実習後、学生スタッフとして活動に参加している学生もいる。
- ・ むすびつくばライズ学園の卒園生を対象とした「放課後くらぶ」（月2回）を継続した。利用者は少なかったが、安心して過ごせる場所を提供することができた。

4. 教材開発・教材販売事業

2025 年度目標と振り返り

- 「2026 年英単語カレンダー」と関連コンテンツを作成するとともに、「ひらがなれんしゅうちょう」を改訂する。

【振り返り】

- ・ 2026 年英単語カレンダーおよび単語タイピングコンテンツを作成し、Amazon、TSUTAYA 等でも販売するとともに、生活クラブ東京、生活クラブ千葉、生活クラブ茨城、パルシステム茨城 栃木では、寄附付き商品として取り扱いいただいた。
- ・ 「ひらがなれんしゅうちょう」の改定にも着手、2026 年度も継続して行うこととした。
- ・ つくば市のふるさと納税の返礼品として英単語カレンダーを含んだ英語教材を販売した。合計 3 件の申し込みがあった。

- 他団体と協働し、上記を含めたオリジナル教材の ICT 化を進め、Web 上で配信する。

【振り返り】

- ・ 奈良にある英会話スクール HAYA イングリッシュアカデミーとともに英検の教材開発に取り組み、約 1 ヶ月間（全 6 回の Zoom ライブ、オンラインコンテンツ学習）の英検 4 級講座を 2 期にわたって実施した。
- ・ 筑波大学の学生 2 名に、教材の ICT 化について協力を得た。
- ・ 11 月には、TSUTAYA デイズタウンつくば店にて、「英単語カレンダー」「ABC 英語れんしゅうちょう」を使って、子どもたちが楽しく英語を学べるワークショップを実施した。
- ・ 任意団体あいよみ とともに、英単語学習アプリ「英単語ナビ」の開発に取り組み、Google Play Store にて、バージョン 1.0 をリリースした。
- ・ 12 月から 2 月にかけて、「英単語ナビ」開発にかかる資金をクラウドファンディングで募り、75 名の方から総額 105 万円の支援を得た。プロジェクトの活動報告を通じて、教材の普及や理解も促進できるよう努めた。

<https://camp-fire.jp/projects/902505/view>



- ・ 1 月に、パブリックリソース財団が運営するオンライン寄付サイト Give one に掲載されていた当法人の「読み書きに困難を示す子ども向け学習教材の普及プロジェクト」が、「三菱食品 これからの 100 年基金」の助成対象として選出された。100 万円の助成金を活用し、「はじめての英単語カレンダー：改訂版」を新たに印刷し、希望する小学校やフリースクール等へ無償提供するキャンペーンを開始するとともに、関連コンテンツの追加・リニューアルを行った。

はじめての英単語カレンダー

<https://www.rise-plus.net/eigo/hajimetenoeitangocalender>



- ・ 研修会事業でも触れたように、学びプラネットや TSUTAYA 等でのイベント、アプリ「英単語ナビ」体験会、Youtube 配信等を実施して、教材の周知・販売促進に努めた。

5. 学習支援（ライズぷらす）事業

2025 年度目標と振り返り

- 不登校やそれに近い状態にあったり、読み書きにつまずくなどして自信を失ったりしている子やその保護者、支援者を対象に、動画教材等を Youtube アカウント「ライズぷらす」から配信し、チャンネル登録者数 2,000 名を目指す。

【振り返り】

- ・ 大学生の教材開発ボランティア、保護者、高校生の協力を得ながら、ショート動画を含め計 78 本の動画を制作・配信した。さらに、Youtube ライブ配信を 5 回実施した。
- ・ YouTube チャンネル登録者数は 1 年間で 475 名増加し、730 名となった。
- ・ 高校生ボランティア 2 名が TikTok チャンネル「ライズぷらす研究所」を開設。8 月から計 12 回の活動を通じ、動画制作や広報に協力を得た。

Youtube アカウント「ライズぷらす」

<https://www.youtube.com/@RISEproducts>



- WEB サイト「ライズぷらす」からも、動画教材や WEB アプリなどを配信し、無償会員 1,000 名、有償会員 600 名、サポート会員 60 名を目指す。

【振り返り】

- ・ 4 月から無償会員、9 月から有償会員の登録受付体制を整備した。2025 年度の実績は、無償会員 130 名、有償会員 2 名、サポート会員 2 名に留まった。
- ・ Web サイト「ライズぷらす」に、28 本の動画のほか、英語絵本、英単語カレンダー関連コンテンツなどの新教材を追加した。

会員制 WEB サイト「ライズぷらす」

<https://www.rise-plus.net/>



- 学びプラネット合同会社と協働し、読み書きに困難を示す子らに、その ICT 活用スキルを向上させることで、苦手を補い得意を伸ばすプログラムを実施する。

【振り返り】

- ・ 学びプラネット合同会社と協働し、iPad を学びツールとして活用する講座「デジタルシーカーになろう」を実施した。6 回連続講座を 1 クール行い、計 2 名の児童が参加した。

- ・ ブランディングサービスを提供する企業 A5 から全 9 回のコンサルティングを受け、団体や教材のブランディングおよび各種施策を推進するための相談体制を構築した。

<https://www.a-five.co.jp/brandingservice/>



6. その他

2025 年度目標と振り返り

- SNS 等を通じてライズ学園の活動の様子を発信するとともに、「ライズぷらす」を通じて Web 教材や学び支援に関する情報を発信し、新規会員の獲得に努めるとともに、会員の継続率向上に努める。

【振り返り】

- ・ note 記事を 57 本執筆し、各種 SNS (Facebook/Instagram/X) で週平均 1.8 回の定期発信を継続。保護者委員による拡散協力もあり、公式 SNS のフォロワー数は X で 354 名（前年度比 1.3 倍）、Instagram で 224 名（前年度比 2.5 倍）と大幅に増加した。また、「ライズぷらす」の専用アカウントも新規開設し、認知拡大の土台を築いた。
 - ・ PR-TIMES に非営利団体登録を行い、計 5 本のプレスリリースを発信。多角的な情報発信と新規会員獲得へのアプローチに努めた。
-
- ・ 昨年度に引き続き、イオンモールつくば黄色いレシートキャンペーンに参加し、当法人のボックスに投函されたレシートの総額の 1%、33,700 円を寄附いただくことができた。

【講演活動等】

- ・ ひたちなか市生涯学習課 R7 年度家庭教育支援動画（講師：小野村）
- ・ 筑波大学教育学類教育インターンシップ 基礎論（登壇：小野村）
- ・ 認定 NPO 法人 EDGE「英語の読み書き困難指導・支援講座」（講師：小野村）
- ・ 光村図書の英語教科書担当者向け研修会（講師：小野村）
- ・ 不登校・多様な学びネットワーク茨城主催「つながる縁日」に出展（北村・松井・大嶋）
- ・ 学びプラネット合同会社「バリアフリーフォーラム 2026 読み書き ICT コミュニティの集い」ラウンドテーブル実践報告（原嶋・佐々木）
- ・ 認定 NPO 法人セカンドリーグ茨城 10 周年企画 茨城県立図書館 1 階 「こどもとしょじつ」前ギャラリー展示スペースにおける県内子ども・子育て支援団体展示に出展

- おすびつくばライズ学園日記

「教育インターンシップ実践演習」の学生記事をぜひご覧ください。

https://note.com/rise_tsukuba



- 活動に関するプレスリリース記事 (PR-TIMES)

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/136359



- リヴォルヴ学校教育研究所 各種 SNS アカウント

